

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 青谷高等学校

重点項目	地域連携	提出日	令和5年4月21日
------	------	-----	-----------

1 学校目標	
人づくり ～生涯 学び続けるために～ 自分らしさに誇りを持ち、社会で信頼され、社会に貢献する人材を育成する。	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>(1) 地域に関する学習や地域行事への参加などとおして、地域の中で主体的に生き、地域に参画・貢献できる姿勢・態度を養うとともに有用感を高める。</p> <p>(2) 学習成果をまとめたり、発表したりすることや、さまざまな場面で企画、開発等に携わる体験とおし、問題解決能力やコミュニケーション力、プレゼンテーション力を養う。</p> <p>(3) 地元企業や地域の人々と連携した取組を通じて、人間関係形成力、社会参画力を養う。</p> <p>(4) ボランティアや地域連携に係る各種事業に参加することを通じて、生徒が充実感や達成感を得ることで、自己肯定感を高める。</p> <p>(5) 地域とのかかわりを通じて、地域から応援される学校づくりを推進する。</p> <p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域活動（地域行事やボランティア活動等）に参加した生徒の割合が、全生徒の5割以上 ○地域活動に参加して自己肯定感が高まったと感じる生徒の割合が、参加生徒の8割以上 ○地域活動等で関わった地域の方々から「青高生は地域に参画・貢献できている」と肯定的に評価される割合が8割以上。 	<p>◇課題探究において、地域資源の活用方法や地域課題の解決方法を考案、提案し、地域から協力を得ることができた。</p> <p>◇課題探究成果発表会や青谷学ポスターセッションを実施して、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を養うことができた。</p> <p>◇課題探究や青谷学での学習活動とおして、人間関係形成力や自己肯定感を高めることができた。</p> <p>◇地域の方を外部講師として招聘することで、地域の新たな魅力発見や、興味関心を高めることができた。</p> <p>◇草花プランターを飾る地域美化活動等、学校の各種取組を肯定的に評価し、学校を応援する声があった。</p> <p>◇令和4年度 鳥居龍蔵記念 全国高校生歴史文化フォーラムにおいて、優秀賞を受賞、第16回全国高校生歴史フォーラム（地歴甲子園）において、佳作を受賞。</p> <p><数値結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域や学校外でのボランティア活動に参加した生徒54.5% ○自己肯定感に対する肯定的回答94.0% ○新型コロナウイルス感染症による地域活動等での制約により、地域の方々へのアンケートが実施できなかった。
3 実施事業	
<p>【高等学校課事業】</p> <p>外部人材活用事業（社会人講師）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青谷学Ⅰ 19講座35時間実施 ○青谷学Ⅱ 39講座77時間実施 <p>【独自事業】</p> <p>(1) 青谷学Ⅰ・Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校設定科目「青谷学Ⅰ」（2年次） →地域の人材を外部講師として活用し、地域の自然・歴史・文化・産業を学習。 	

○総合的な探究の時間「青谷学Ⅱ」（3年次）

○探究テーマ及び概要

	テ ー マ	概 要
1	青谷の自然 ～青谷の樹木と歴史～	青谷上寺地遺跡から出土している木製品の材料である樹木を調べ、現在分布している樹木と比較する。
2	鳴り砂でメロディーを	鳴り砂を用いて、どのようにしたら演奏が可能かを調査し、曲の演奏に挑戦する。
3	歴史の再発見 ～町に物語を～	全国の地域活性化の現状と課題を調査するとともに、青谷の歴史学習を通じて地域活性化策を考察。
4	青谷上寺地遺跡出土人骨の考察 －殺傷痕のある少女人骨の問いかけるもの－	少女人骨はどのように遺跡から出土し、弥生時代の戦いの痕跡を調べ、青谷上寺地遺跡でなぜ戦いが起こったのかを探究する。
5	青谷の観光客や移住者を増やす －韓国の人々に青谷の魅力を伝える－	空き家カフェとしての利活用のための青谷の資源活用と韓国語による青谷の紹介動画作成をおこなう。
6	青谷木綿の活用 ～木綿を身近に感じてもらうために～	青谷木綿の歴史を学ぶとともに、綿繰りから木綿作品作りまでを実践し、青谷木綿の地域への浸透方法及び活用方法を考察。
7	ウニのすべてを探り、次の世代へ引き継ごう！	ムラサキウニの大量発生によって引き起こされる藻場の消失の問題解決の可能性を探る。
8	農業人口を増やすには	青谷の農業における農業従事者の高齢化、若者の農業離れについて、問題の解決方法を探る。

(3) 青谷地域美化活動

○thanks a oya flower事業

→青谷駅、あおや郷土館など地域の施設に草花プランターを飾る。

(4) 保育実習

○すくすく保育園保育実習（3年次）

→「子ども文化」の授業の中で、年3回保育実習を実施。

(5) ボランティア活動の推進

○保育ボランティア支援

→地域のすくすく保育園の土曜保育の手伝いを、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら2回行った。

4 総合所見（成果・評価）

令和4年度も延べ150名にも及ぶ地域の方々を中心とした外部人材の活用により、感染症予防対策を講じながらも、地域連携の取組を実施することができた。地域の方々の支援に感謝したい。地域連携の取組をとおして、生徒はコミュニケーション力、プレゼンテーション力や人間関係形成力などを向上させ、自己肯定感も高めることができた。特に、地歴甲子園における令和3年度の最高賞受賞に続き令和4年度でも佳作入賞、令和4年度 鳥居龍蔵記念 全国高校生歴史文化フォーラムにおいて、全国で4校のオンライン発表に選出され、優秀賞を受賞。当該生徒はもとより、他の生徒にとっても「やればできる」という自信にもつながったに違いない。

地域の方々へのアンケートについては、計画的に地域の方へのアンケートの機会を設けるとともに、広報誌やSNS等を通して、地域への本校教育活動の発信に一層努めたい。

今後も、青谷学Ⅱや青谷学Ⅰの取組を中心に、地域の活性化への貢献や、生涯学び続ける人材を育成に向け、一層の取組を展開したい。

※枚数任意